



例年にちかい学校生活に・・・

コロナウィルス感染症は変異株 BA.5に置き換わり、第7波に突入しました。これまで以上の感染力の強さに対し、更なる感染対策のもとで学校運営を継続していきたいと思っています。1年・2年生は「北海へそ祭り」に参加予定で講義の合間を縫って衣装の準備をしたり、観光課から踊りの指導をうけたり、祭りの当日を迎えましたが急遽、出場を辞退しました。楽しみにしていましたので本当に残念でした。来年こそ、コロナウィルス感染症が収束していることを願っています。3年生は7月末までは臨地実習を実施していましたが、8月から一部の領域では学内実習となりました。今後の状況を静観し、今できることに全力を尽くし、これまでどおりに看護師なるための学びを継続しましょう。

「看心ふらの」では入学式以降の看護学生の講義、演習、実習の様子についてお知らせします。

(校長 澤田)

5月16日

3年生 臨地実習 開始

5～6名を1グループとし、1クール3週間の領域別実習が開始となりました。5月16日(月)～11月18日(金)までの21週間です。実習開始2クール終了後、夏季休暇2週間と学内学習1週間後は、後半の4クール連続の実習です。10月の学内学習3週間を挟み、最後の統合実習となります。8月8日現在、4クール目に入りました。不安から自信へと変わり、ゴールが見えてきたのでは・・・**ガンバレ！！**

5月27日

避難訓練

「1階ボイラー室から火災発生！」火災報知器がなり、モクモクと白煙が立ちこめる中を素早く、学生、教職員は屋外の所定の場所に避難し、逃げ遅れもなく、けが人もいませんでした。消防署員の方から講評をいただき、消火器による消火訓練を実施しました。

「練習の時にできないことは、本番の時にはできません」、今日の避難訓練の体験を今後活かしてください。



5月30日

1年生 基礎看護学実習 I-①

看護学生として、初めての臨地実習を経験しました。患者さんとのコミュニケーション、実習施設の説明、看護の実際の見学から、見て、聞いて、多くのことを感じた実習経験となったのではないのでしょうか。日々の講義、演習での学びを積み重ねて、10月の看護技術発表会、11月の基礎看護学実習 I-②に向けて準備しましょう。

☆入学後4か月経過した、今の心境を100文字+αでお願いしました。

期待と不安を胸に、いざ授業が始まると専門用語や早い授業のペースに予習・復習がなかなか追いつかず、最初の2か月はあっという間に過ぎていきました。

4か月たった今、学校にも慣れてきて、綺麗で自然豊かな富良野を感じる余裕もできました。特に学校の前で風になびくらベンダーの美しさや香りに癒やされます。技術面では車椅子介助や全身清拭、血圧測定など、臨床でも多く行う技術を習い、一步一步看護師に近づいているなど実感しています。

1年 奥野 ふづき さん

入学してから4か月が経過しました。毎日、看護師になるための技術を学び友達と放課後を使い練習し、10月にある技術発表会に向けて頑張っています。

勉強は身体の骨や筋肉を覚えたり、初めて聞く単語ばかりですが、先生方が優しく教えてくれます。コロナ禍で様々な制限のある中で工夫しながら学校生活を送っています。

1年 遠藤 七海 さん

6月15日

就職説明会

今年度も1年生を対象に就職説明会を開催しました。ご自分の将来、勤務したい施設を考える機会になったでしょうか。3密をさけるために1施設30分程度、時間差で実施しました。**富良野圏域の地域医療を担う看護師はみなさんです！！**



6月24日

2年生 老年看護学実習 I

1年次の臨地実習は、基礎看護学実習 I - ②のみの体験でしたが、老年看護学実習 I では臨地実習を経験できました。実習目的は「老年期の対象の特徴を理解し、高齢者の健康状態に応じた日常生活援助を学ぶ」ことです。受け持たせていただいた患者さんに必要な看護援助は実践できましたか？今回の臨地実習で感じたこと、気がついたこと、わかったことを大切にしてください。次回の臨地実習は成人看護学実習 I、IIへと続きます。臨地実習の経験からの学びを積み上げ、知識、援助技術とともに看護学生としての成長を期待しています。

老年看護学実習 I を終えて

私は、今回の老年看護学実習で実際に老年期にある患者さんと関わり、加齢に伴い身体、精神、社会的側面でどのような変化があるのか、患者さんの状態に合わせた援助方法の選択などの様々なことを学ぶことができました。

2年 林 小春 さん

老年看護学実習 I を終えて

今回受け持たせて頂いた患者さんは自宅退院が決まっており、退院できる喜びと同時に今後の生活への不安を感じていました。その気持ちを傾聴し患者さんが退院後の生活をイメージできるように寄り添うことができたように思います。

2年 鈴木 美空 さん

7月25日

オープンキャンパス 開催 7月25日(月)～28日(木)

参加人数、時間を制限し、学校の概要、施設の見学等を実施しました。富良野市内外から17校の高校生64名、社会人2名、保護者16名の参加がありました。普段の学校、学生の学習の様子をイメージすることができたでしょうか？詳しくは入学後に一緒に確かめましょう。

あなたの「看護師への夢」を富良野看護専門学校で叶えましょう！！

25日(月)

26日(火)

27日(水)

28日(木)



7月29日

北海へそ祭り

7月に入り、休み時間、放課後の時間を使い、Tシャツに凶腹の下絵を描き、色を塗り、装飾をして個性豊かな凶腹を作りました。1年生はへそ丸くん風に着付けをして、2年生は自前の浴衣姿で、北海へそ祭りに参加する予定でしたが、出場を辞退しました。1年生は全員で作成したTシャツを着て、2年生は浴衣姿で、思いでの一ページに残しました。**今回の準備経験は、今後、必ず役立つでしょう！！**



来年、一緒に踊ろう！

3年生から「実習中の想い」を100文字でお願いしました。

1・2クール目の実習を終えて、疾病の理解を深め、対象の意思を尊重した関わりや援助の重要性を学ぶことができました。今後の実習では、学びを活かしてより良い看護を実践していきたいです。

3年 平泉 誼巳 さん

3年生になり本格的な連続実習が始まりました。現在は、徹底した感染対策のもとで臨地実習に行くことができ、とても勉強になります。関わりの中で難しいことも多くありますが、周囲への感謝を忘れずに努力していきたいです。

3年 西村 紀香 さん

「看心ふらの」第8号は12月末に発行予定